

# 資料 5

## 実証・技術調査部会に関する運営規則（案）

### （目的）

第1条 本規則は、実証・技術調査部会（以下、「部会」という。）の運営等に関して必要な事項を定めることを目的とする。

### （部会の業務）

第2条 部会は、中小企業庁の委託事業である平成29年度「中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業」（以下、「事業」という。）に基づく決済・商流情報連携（金融 EDI 連携）基盤整備委員会（以下、「委員会」という。）が設置する組織として、次の業務を行う。

- 1 調査実証の仕様策定を行う。
- 2 実証試験用共同利用システムの仕様策定を行う。
- 3 モデルプロジェクト支援ツール開発の検討を行う。
- 4 モデルプロジェクトの進捗管理を行う。
- 5 モデルプロジェクトの技術的な支援を行う。
- 6 モデルプロジェクトの実証検証の結果を踏まえ、生産性向上に関する効果を確認する。
- 7 期間中、部会を5回程度開催する。
- 8 実証・技術調査部会の活動成果を実証・技術調査部会活動報告書として委員会へ提出する。

### （部会のメンバー及び任期等）

第3条 メンバーは、公正中立の立場で客観的に部会の業務を適切に行うことができる学識経験、専門的知見等を有する者のうちから、委員会が委嘱する。

- 2 メンバーの任期は、本事業終了までとする。ただし、メンバーが欠けた場合における補欠のメンバーの任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 メンバーは、再任できるものとする。
- 4 メンバーは、非常勤とする。

### （部会長）

第4条 部会に部会長を置き、委員会が委嘱する。

- 2 部会長は会務を総理し、部会を代表する。
- 3 部会長に事故等があり、部会に出席することができないときは、あらかじめ

## 資料 5

部会長が指名したメンバーがその職を代理する。

(議決方法等)

第5条 会議の議事は、出席した委員の合意をもって決することを原則とする。ただし、必要に応じて多数決をもって決する。

2 緊急やむを得ない事情があり、会議の開催が行えない場合には、部会長は、会議に係る書類の回覧をもって、会議に代えることができる。

(メンバーの除斥)

第6条 メンバーは、第2条の業務に関して、自己又は3親等以内の親族の利害に関係のある議事に加わることができない。

(秘密を守る義務)

第7条 メンバーは、第2条の業務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。但し、モデルプロジェクト採択後の普及に関する事項についてはこの限りではない。

(部会の事務局)

第8条 部会の事務局は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所が務める。